

第4回

関西リンパ浮腫治療研究会が

3月25日(土)に

薬業年金会館にて開催されます。

当院からは

血管外科センター長 今井崇裕 先生が

学術発表されますので、ご紹介致します。

「 圧迫療法の普及と地場産業の復興を目的とした

NARA ソックス・プロジェクト 」

今井崇裕¹ 竹中美鈴² 和田小百合²

¹西の京病院 血管外科

²西の京病院 看護部

抄録

日本を代表する靴下産業の奈良県では、明治時代末期から大正時代にかけて、隣接する大阪の繊維や足袋の間屋筋からの発注を受けて、農家の副業として地元の大和木綿を使用した靴下製造が盛んであった。現在奈良県は靴下製造生産地として、全国生産数量の 37.4%を占めているが、第二次大戦後、生活環境の西洋化にともない、靴下はこれまでの絹や木綿素材からナイロンが主流となり、近年は生産コストの安い東南アジアの輸入品が急増した。各社で生き残りをかけた企業努力を行っているものの、生産量は最盛期の 2 割程度に激減している。

また近年国内で予防医学に対する取り組みが盛んである。災害時にはエコノミッククラス症候群がたびたび取り上げられ、弾性ストッキング(以下 **ES**)の着用は身近に行うことができ、血栓症の予防やリンパ浮腫治療の有効な手段である。

今回地元の医療機関、靴下会社、大学生の協力を得て、圧迫療法の普及と地場産業の復興を目的とした **NARA** ソックスプロジェクトを計画した。

県下の会社と提携し、ハイソックスタイプの弾性ストッキング(以下 **ES**)を製作した。研究期間は 2017 年 1~3 月の 2 ヶ月間。対象は健常ボランティア 30 名。検討項目は、製作した **ES** を装着して着用前後の下肢周囲径の変化、超音波パルスドプラ法による下肢の血流増加効果、アンケートによる官能検査。以上の検討結果について報告する。